

SDGs 企業事例：日本電気株式会社/NEC Corporation

1. 会社概要および同社の SVC に関するビジョン

NEC の会社概要およびサステナブル経営に関する方針については以下にまとめられています。

会社概要：

<https://jpn.nec.com/profile/corp.html>

https://www.nec.com/en/global/about/corporate_profile.html (English)

サステナブル経営：

<https://jpn.nec.com/csr/ja/management/index.html>

<https://www.nec.com/en/global/csr/management/index.html> (English)

NEC は、ブランドステートメントとして「Orchestrating a brighter world」を掲げ、今後の世界動向を 6 つのグローバル・メガトレンドとして把握した上で、社として取り組む 7 つの社会価値創造テーマを下記の通り選定しています。

- ▶ Safer Cities & Public Services
- ▶ Lifeline Infrastructure
- ▶ Communication
- ▶ Industry Eco-System
- ▶ Work Style
- ▶ Quality of Life
- ▶ Sustainable Earth

社会課題を起点とする考え方は、SDGs の思想と親和性が高く、自らの企業活動を SDGs に沿ったものとするよう明確に打ち出しているといえます。

2. NEC の事業分野の概要

2.1 NEC のマテリアリティ (SDGs/ESG に沿って取り組むべき優先テーマ)

NEC のマテリアリティについては、下記にまとめられています。

マテリアリティ：<https://jpn.nec.com/csr/ja/management/materiality.html>

マテリアリティは 3 層 9 テーマを設定し、会社経営の全体的基盤の強化、成長のための変革を促進するテーマ、中期的な成長分野を特定しています。

2.2 NEC の主要事業分野

(1) 主要事業と SDGs との基本的関係

NEC が進める事業は、経営方針にある通り「人が豊かに生きる『安全』『安心』『効率』『公平』な社会を実現するために、ICT を活用して社会課題を解決する社会ソリューション

ョン事業に注力する」としています。関連のハード、ソフト製品およびサービスを提供するほか、情報セキュリティや生体認証技術などの最先端技術を活用した、安全・安心な社会インフラ（NEC Sager Cities）、企業・産業の枠を超え、バリューチェーン全体で人、モノ、プロセスをつなぎ新たな価値を生み出す事業（NEC Value Chain Innovation）をとおして、NEC は、顧客をはじめとするステークホルダーとともに、SDGs の 17 すべてのゴールに貢献していくと述べています。

(2) NEC の SDGs に係る貢献事例

NEC の SDGs に係る貢献事例は、下記のサイトにまとめられています。

SDGs に係る貢献事例：<https://jpn.nec.com/profile/sdgs/index.html>

3. 開発途上国¹での SDGs 関連の事業

上記 2.2 (2) 項にある SDGs 貢献事例の中で、途上国において実施された事業例は以下の通りです（上記 URL から抜粋）。

① チリの学校給食プログラム

- ▶ チリの公立学校 1200 校に、指紋認証を活用した給食配給管理システムを導入。指紋認証を活用した専用端末による照合結果をもとに、給食と引き換えができるバウチャーを発券し、生徒一人ひとりに適正な給食を確実に配給するプログラム。
- ▶ 生徒個別の給食配給履歴を活用し、子供たちの栄養と健康の改善・管理を強化。

② アーメダバード（インド）のバス高速輸送システム

- ▶ バスに設置した GPS よりバスの運行経路・運行状況を監視することで、高速バスの運行計画や運行業務の質を向上
- ▶ バス到着推定時刻の把握、定刻運行の確認が可能になり、乗客の利便性が向上
- ▶ 自動料金収受システムの導入により、IC カードやスマートフォンを活用したキャッシュレス運賃支払いを実現

③ モザンビークの電子クーポン

- ▶ 優良種苗・肥料購入を補助するためのクーポン配布を行う FAO（国際連合食糧農業機関）の農家支援事業に電子マネー基盤を導入
- ▶ 紙クーポンの電子化により、クーポン利用率が高まり、農業資材の円滑な流通を実現
- ▶ クーポン利用履歴に基づく FAO の農業改善指導が可能になり、農業の生産性と収入が向上

④ ブラジル空港ソリューション

- ▶ リオの郊外にあるトム・ジョビン国際空港へ空港運営に関わるトータル ICT シ

¹ ここでいう「開発途上国」は、我が国 ODA で支援の対象となっている諸国を想定している。

システムを構築

- ▶ この他、ブラジルの主要 14 の国際空港において、税関で利用される顔認証システムを導入。過去の不正審査時に登録されたデータとの照合により、不審人物を検知
- ▶ 税関審査手続きを効率化・厳正化するとともに、密輸、不正行為防止を実現し、国境警備を強化

4. NEC の SDGs への貢献

4.1 全般的事業での SDGs への貢献

NEC は、基本的に自社の技術的サービス、製品の提供を通じて SDGs への貢献を志向しています。第 2.2 (1) 項に既述の通り、同社の主要事業の多く（例えば、個人認証や AI による判別技術など）が、社会の安全・安心、技術革新などの面で SDGs に貢献しているといえます。さらに、サプライチェーン、物流、行政ネットワークなどにおいても、共有情報の拡大、情報のシステムの処理・分析、それに基づく効率的・効果的な対応を進めることで、環境改善（CO2 削減）、資源利用の効率性向上、防災・防犯の効果向上などに貢献すると期待されます。

4.2 開発途上国での事業の NEC の持続的成長への貢献

開発途上国においては、NEC は、今後特に Safer Cities の事業により、世界各国の都市の安全性向上に貢献しようとしていて、これは NEC のビジネスとしての拡張とともに途上国での安全性の改善として、その持続的成長に貢献すると考えられます。さらに、NEC の通信・データ処理技術は、途上国が直面するインフラの不備あるいは経済活動にある非効率を改善し、かつ SDGs (CO2 削減) にも貢献すると期待され、NEC の事業拡大と十分両立するものと考えられます。

(文責：国際開発センター 新井文令)